

## 発刊によせて

令和元年度の教育要覧「戸田市の教育」の発刊にあたり、日ごろより本市教育行政の発展に御理解、御協力をいただいておりますことに、あらためて御礼申し上げます。

本市では、市政施行50周年を迎えた平成28年度を教育改革元年とし、「戸田市の教育振興に関する大綱」「第3次戸田市教育振興計画」「第4次戸田市生涯学習推進計画」を施行し、「新しい学びの創造」「指導力ある教職員の育成」「新たな教育行政への転換」「豊かな学びの創造」に重点的に取り組んでいます。

人工知能（AI）が様々な職業を代替していく時代に向けて、産官学民との連携による教育シンクタンクの構築、先見的な知のリソースを活用した教育施策の展開を推進することで、本市の小・中学校ともに3年連続で県内トップクラスの学力となるなど、教育改革の取組が効果を表し始めています。

特に、教育改革をより深化させるために、産官学民との連携による「戸田市PEERプログラム」を進めています。PEERプログラムとは、プログラミング教育（Programming）、英語教育（English）、経済教育（Economic Education）、リーディング・スキル（Reading Skills）の頭文字をとったものです。

先行き不透明な時代にあって、自分の人生を切り拓き、よりよい社会を創り出せる力をとだっ子に身に付けさせるため、単なる知識の詰め込みではなく、産官学民との連携により、問題解決能力や思考力、コミュニケーション能力などの「21世紀型スキル」や、「汎用性スキル」「非認知スキル」と呼ばれる能力を小中一貫した教育プログラムによって育成します。

そのため、全国の自治体から選ばれた文部科学省の委託研究事業などを通じて、アクティブ・ラーニングをより一層推進します。また、小学校に続いて中学校にタブレット型パソコン約1,000台を導入し、デジタル教科書などの積極的な活用を図りながら、効果的な指導方法について実践・研究を進めます。

教育相談については、児童生徒を対象にした小学校スクールカウンセラーを全小学校に週2日と配置日数を倍増させるなど相談体制の一層の充実を図ります。また、不登校児童生徒への支援については、専門的な知見を有する民間事業者と連携し、ICTを効果的に活用して児童生徒の状況に応じた学びの支援を充実させるなど機能を強化します。

さらに、昨年度導入したコミュニティ・スクールにより、学校と保護者と地域住民が知恵を出し合い、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え、地域とともにある学校づくりを目指します。

学校教育の環境整備については、昨夏、災害とまで言われた猛暑により児童生徒の体育の授業にも大きな影響があったことに鑑み、全小・中学校の体育館に順次エアコンを設置すべく準備してまいります。

本要覧は、本市における教育行政全般、各教育機関及び学校の諸活動についての概要をまとめたものです。戸田市の教育施策と現状を御理解いただく一助として皆様に御活用いただきますとともに、今後とも本市の教育に対し、より一層の御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年5月1日

戸田市教育委員会

教育長 戸ヶ崎 勤